

news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号 [URL] http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/

2017年11月9日

報道関係者各位

北海道の環境を守るあなたの 1 本「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインが支援する活動



「北海道 e-水(イーミズ)プロジェクト」

第8回 北海道 e-水フォーラム開催

北海道コカ・コーラ(本社:札幌市清田区 社長:佐々木康行)は、北海道、公益財団法人北海道環境財団と共に「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザインの売上の一部寄付を財源として、2010年より北海道の水辺の環境保全に取り組む団体を応援する事業「北海道eー水プロジェクト」に取り組んでいます。

2017年度の年間活動発表会である「第8回 北海道e-水フォーラム」を下記の通り開催いたします。 当フォーラムでは本年度の寄付金8,273,388円(累計寄付額109,977,354円)の贈呈式をはじめ、本年度採択された活動団体(9団体)の年間活動報告、有識者による基調講演が行なわれますので、ご多忙の折とは存じますが、取材を賜りたくご案内申し上げます。

【第8回 北海道e-水フォーラム 概要】

日時	2017年11月21日(火) 18:00~20:30
場所	札幌国際ビル8階 国際ホール 札幌市中央区北4条西4丁目1番地
申込み先	公益財団法人 北海道環境財団 電話:011-218-7811
定員	120 名 (参加費無料)
内容	・寄付金贈呈式 ・活動団体発表(9 団体)※各団体の詳細については別紙参照 ・講演 大原 昌宏 氏(北海道大学総合博物館 教授・副館長) 「海浜性昆虫からみた自然環境 ~北太平洋海岸の生物多様性と水環境を考える~」
主催	北海道、公益財団法人北海道環境財団、北海道コカ・コーラボトリング株式会社
備考	来場者に「ジョージアサントスプレミアム」&「い・ろ・は・す」をプレゼント

GEÖRGIA SANTOS PARE MITUM







北海道の環境を守る あなたの1本

- ・「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインによる、北海道の水 辺の環境保全に向けた寄付は、2016 年に累計 1 億円(2 億本)を 突破、2017 年までの 8 年間でのべ 83 団体を支援、活動の輪は北海 道一円に拡大しています。
- ※北海道 e 水ブロジェクトの前身となる、北海道との「環境保護活動の推進に関する協定」に基づく寄付を含めた 累計寄付額(2008 年~2016 年)
- ・「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインの寄付を通じた取組みである「北海道 e -水プロジェクト」が、2017 年 7月「第 19 回日本水大賞」審査部会特別賞を受賞。

当社は「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として北海道の魅力をさらに高めるため、地域課題解決への協力や次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 担当:小野

Tel: 011-888-2091

■ 別紙 1 2017 年度 北海道 e-水プロジェクト 支援団体(敬称略)

① 網走川流域の会

人・産業・自然が共生する流域社会の 構築を目的とした研修会などの実施。当 流域の自然環境や産業などの課題を学習





② 石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネット

当流域のパンフレットや映像、キャラクターでの作成や、探索会、湿原の恵みを利用したワークショップなどの実施





③ KODOMOラムサールin

地域の小中学生を対象とした湿地学習・保全活動や全国ラムサール条約登録湿地の小学生を対象とする KODOMO ラムサールの実施等





④ 札幌市立北辰中学校科学部

北海道南西部沿岸における有孔虫の調査 (海岸での 砂採取、有孔虫の数調査、種類の同定など)。研究成





後志地域生物多様性協議会 (5)

後志の代表的な河川におけるアユとカワヤツメなどの DNA 調査とその成果をまとめたパンフレット作成、環境 DNA に関する勉強会実施等





尻別川流域のイトウの自然繁殖が確認され ている地域での見守り活動と、イトウ飼育施 設での飼養と人工採卵・人工授精の実施等

⑥ 尻別川の未来を考えるオビラメの会





⑦ 北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローカルアクションプロジェクト

住民の水利用に対し意識改善を目的に、常呂 川水系の水質・水生生物調査の成果発表とク ローバルな視点による水ミーティングの実施





⑧ NP0法人丸瀬布昆虫同好会 武利川に関する勉強会、オ やウチダザリガニの調査、 水生昆虫調査 :、駆除、いこ

いの森利用者への啓発、学校教育への 成果還元などを実施





の UWクリーンレイク

水中ドローンを購入し、湖底環境観察 会を実施。外来種問題の専門家を招聘、 同分野で活動する関係者も集めたワー





- 対象となる団体:道内の水辺における環境保全事業を行う非営利の団体または流域ネットワーク
- ・対象となる事業:道内の水辺(川、海、湖沼など)において環境保全活動を行う非営利の団体 (または流域ネットワーク) が行う事業。

■ 参考1 北海道 e - 水 (イーミズ) プロジェクトとは

- ▶ 北海道には豊かな水資源とそれを取り巻く美しい自然があります。この北海道の恵まれた水と それを含む自然環境を道民全体で保全し、未来に引き継いでいくため、道民、事業者、行政の協働 のもとで地域における水辺の環境保全活動に取り組む事業が「北海道 e 一水プロジェクト」です。
- エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「北海道 e -水 (イーミズ)プロジェクト」と名付けました。
- ▶ 2010年から始まったこの「北海道e-水プロジェクト」はこれまで8年間で延べ83の団体を支援、 活動の輪は全道一円に拡大しています。

■ 参考2 寄附金額の推移

2008~2016年 寄付額実績 101,703,966円

2017年 今回寄付額 8,273,388円

寄付額累計 109,977,354 円 内) 北海道 e -水プロジェクト 85,599,159 円 ※北海道 e -水プロジェクトの前身となる、北海道との「環境保護活動の推進に関する協定」に基づ、寄付を含めた累計寄付額(2008 年~2016 年)

■ 参考3 第19回 日本水大賞 「審査部会特別賞」受賞(2017年7月)

▶ 日本水大賞は日本水大賞委員会(名誉総裁 秋篠宮殿下、委員長 毛利 衛)と国土交通省が主催となり、水環境の健全化に向けた諸活動を広く顕彰し活動を広く支援するために、1998年6月に創設された賞で、水環境におけるすべての団体、個人の研究活動を対象とした国内唯一の賞。

『当社の受賞理由』

北海道は、大小さまざまな河川や湖沼が存在し、全国の湿地の約86%が集中し、積雪の多さなどから世界的に見ても貴重な水の大地といえます。この水の大地を、健全な形で次世代に引継いでいくことが重要です。

北海道コカ・コーラボトリング(株)は、地域限定商品の売り上げの一部を使い、北海道、北海道環境財団の三者協働事業として、北海道ー水プロジェクトを実施しています。

このプロジェクトは、水環境保全を目的としたフォーラムを開催したり、水生外来種駆除など環境保全活動を支援したりしています。企業が、社会的役割を認識して消費者と水循環健全化活動を結び付けていること、企業と行政と団体と協働することで実効性が高いことは特筆に値します。こうした企業活動がさらに盛んになることを願い、審査部会特別賞にふさわしいと判断しました。

(※国土交通省発表 「日本水大賞」報道発表資料 別添より引用)

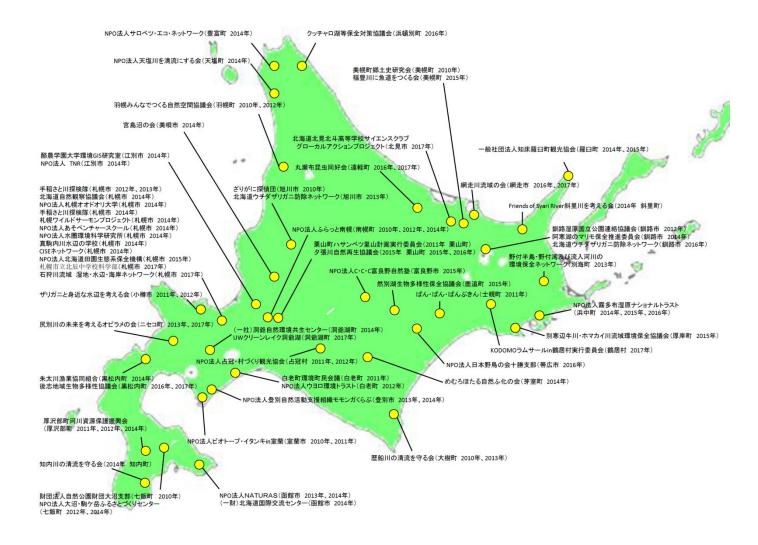


第19回 日本水大賞授賞式



日本水大賞 審査部会特別賞

【北海道e-水プロジェクト歴代活動団体一覧】



【北海道e-水プロジェクト活動風景】







採択団体活動風景



北海道e-水フォーラム







C-水フオ

北海道の水環境を守る活動に取り組んでいる支援団体の活動報告を行うとともに、 世界各地を訪ね、昆虫の研究をされている大原昌宏教授に水環境保全の視点からご講演をいただきます。

2017年11月21日[火]

18:00~20:30

札幌国際ビル8F 国際ホール 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 地下鉄さっぽろ駅8番出口直結

無料(定員120名) ※要事前申し込み·先着順

活動団体発表

- ・網走川流域の会(網走市)
- ・石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク(札幌市)
- ·KODOMOラムサールin鶴居村実行委員会(鶴居村)
- ・札幌市立北辰中学校科学部(札幌市)
- ·後志地域生物多様性協議会(黒松内町)
- ・ 尻別川の未来を考えるオビラメの会 (ニセコ町)
- ・北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローカルアクションプロジェクト(北見市)
- · NPO法人丸瀬布昆虫同好会(遠軽町)
- ・UWクリーンレイク洞爺湖(洞爺湖町) ※五+音順

「海浜性昆虫からみた自然環境 ~北大平洋海岸の生物多様性と水環境を考える~」



講師:大原昌宏氏(おおはらまさひろ)

日本は世界で6番目に長い海岸線をもつ国です。海岸は陸と 海が接する特殊な環境で、独特な生態をもつ昆虫たちが生 息しています。北海道からアメリカ西海岸まで、1万6000キロ にわたり続く海岸線において、その自然環境と生物の多様性 はどのように変化していくのでしょうか。海浜性昆虫調査の 視点から、北太平洋の海岸保全と水環境を皆様と考えたい と思います。

プロフィール

昭和36年東京都生まれ。鹿児島大学理学部卒。北海道大学農学研究院博士課程単位取得退学、博士(農 学)。小樽市博物館学芸員、北海道大学農学部助手、総合博物館助教授・准教授を経て2011年から現職。昆虫 分類学、特に甲虫類のエンマムシ科の分類学が専門。昆虫採集調査、標本調査で世界各地を訪ね、自然環境と 博物館を見て回っている。博物館活動では、国内最初の分類学人材養成のパラタクソノミスト養成講座の活動を はじめ、札幌周辺の社会教育施設連携のCISEネットワークの代表も務める。



ご参加いただいた方には 「ジョージア。サントスプレミアム」 北海道限定デザイン& 「い・ろ・は・す」をプレゼント!



写真:アメリカ・オレゴン州 Manzanita

<お申込み・お問合せ先>公益財団法人北海道環境財団 北海道e-水プロジェクト事務局 FAX 011-218-7812 E-Mail emizu@heco-spc.or.ip TEL 011-218-7811

※FAX、E-Mailの方は、お名前(ふりがな)、ご所属、お電話番号をお知らせください。いただいた個人情報は、本フォーラムの連絡以外には使用いたしません。

主催:北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団

